短 報

肺アスペルギローマの診断に細胞診が有用であった3症例

岐阜県厚生連岐阜北総合病院病理¹⁾, 同 内科²⁾, 岐阜大学医学部病理学第1講座³⁾戸島 敏¹⁾ 新井 正²⁾ 打田 敦¹⁾ 吉見 直己³⁾
安田 洋²⁾

I. はじめに

今回われわれは、胸部レントゲン写真で肺アスペルギローマを疑い、細胞診標本にて特徴ある菌糸形態が確認され、確定診断がついた、肺アスペルギローマの3症例を経験したので報告する。

症例1 : T.K., 71歳, 男性

既往歴 : 6年前に肺結核

家族歴 : 特記すべきことなし

現病歴 : 本年8月, 近医で施行された定期検診の胸部レントゲン写真で, 左中肺野の異常影を指摘され当科に精査目的で紹介入院となる。

症例2 : Y.I., 62歳, 男性

既往歴 : 30年前に肺結核

家族歴 : 特記すべきことなし

現病歴 : 約2週間前より咳嗽が出現し喀痰もともなったが放置していた。3日前に咳込んだときに、痰に少量の血液が交じっているのに気づいた。翌朝、茶碗に半量の喀血をみたために心配になり来院、精査目的で入院となる。

症例3 : K.T., 83歳, 男性

Three cases in which cytodiagnosis was useful for diagnosis of pulmonary aspergilloma

Satoshi TOSHIMA¹⁾, C.T., I.A.C., Tadashi ARAI²⁾, M.D., Atsushi UCHIDA¹⁾, M.T., Naoki YOSHIMI³⁾, M.D., M.I.A.C., Yo YASUDA²⁾, M.D.

¹⁾Department of Pathology, ²⁾Department of Internal Medicine, Gihoku General Hospital

³⁾The 1st Department of Pathology, Gifu University School of Medicine

論文別刷請求先 : 〒501-21 岐阜県山県郡高富町高富 1187 の3 岐阜県厚生連岐阜北総合病院病理 戸島 敏

平成5年1月25日受付

平成5年4月16日受理

既往歴 : 特記すべきことなし

家族歴 : 特記すべきことなし

現病歴 : 約15年前に、農作業中に咯血し、近医を受診したが原因がわからず、その後外来にて経過観察されていた。本年10月10日に咳嗽とともに咯血したため、心配になり当院外来を受診、胸部レントゲン写真にて異常影を指摘され、精査目的にて入院となる。

II. 細胞診所見 (Fig. 1a~c)

TBLBに用いた鉗子による塗抹細胞診標本において、3症例ともに3~6 μm の幅をもつ菌糸が折り重なりあって観察された。菌糸は隔膜を有し約45°~60°に2分岐し、樹枝状に増殖伸張してみられた。症例1 (Fig. 1a) と症例3 (Fig. 1c) においては、分生子柄の頂部に膨大した頂囊を認めたが、その上の梗子および小分生子は観察されなかった。また症例2 (Fig. 1b) においては、分生子柄はみられるものの、頂囊、梗子、小分生子は明らかではなかった。さらに3症例とも菌糸はグロコット染色陽性を示したことより、細胞診所見とあわせて、アスペルギローマと診断した。

III. 考 察

今回われわれは胸部レントゲン写真で腫瘤状陰影を呈し、形態学的にアスペルギローマを疑い、気管支ファイバースコープを実施し、細胞診にて確定診断が得られた3症例を経験した。アスペルギローマは“病巣内では菌糸性増殖を示し、典型的な菌糸は、幅3~6 μm で等間隔に隔壁を有し、2分岐をして増殖伸張し、樹枝のようだ”と記載されている¹⁾。今回の3症例も同様の菌糸を観察しえたため、肺アスペルギロー

Fig. 1 a, b, c はいずれも $3\sim 6\mu\text{m}$ の幅をもつ菌糸が約 $45^\circ\sim 60^\circ$ に2分岐し、増殖伸張してみられる。a, cにおいては、分生子柄、頂囊がみられるが、bにおいては、分生子柄はみられるものの頂囊は明らかではない (a, b, c, Pap. 染色, $\times 1000$)

マと診断した。気管支ファイバースコープにより採取した病変の塗抹標本では、多数の菌糸が確認でき、組織標本に比べて、かなり明瞭に菌糸形態を観察できた。これは平面的に観察をする組織標本とは異なり、立体的構造を押しつぶして平面的に広げて観察するためと考えられる²⁾。このため診断にあたっては、菌糸形態の立体的構造を把握しやすい細胞診は、この菌糸形態を観察するのにきわめて有用と考えられた。

本稿にご協力をいただいた岐阜総合病院内科成宮茂利先生、

高屋忠丈先生、早川和良先生に厚く謝意を表します。

文 献

- 1) Chandler, F.W., Watts, J.C.: 6 aspergillosis, in pathology diagnosis of fungal infections, pp. 55~74, ASCP Press, Chicago, 1987.
- 2) 木村雅友, 佐藤隆夫・他: アスペルギルス判定に細胞診が有用であった1例, J. Jpn. Soc. Clin. Cytol., 28(4): 547~551, July, 1989.